

SoftPOS コンプライアンスサービス

モバイルデバイスでデジタル決済を可能とする
ULの包括的なサポートを提案

スマートフォンやタブレットなどの民生 (COTS) デバイスを使って決済ができるようになると、電子決済のシステムをすぐに構築でき、モバイル端末での決済や運営コストの削減といったメリットが期待できます。しかしながら、COTSデバイスは、業務用途 (POSシステム) を想定された電子デバイスとは異なり、物理的な安全対策が施されていない為、決済のセキュリティを確保するのは簡単ではないものです。COTSデバイスを使って電子決済を行うには複雑なセキュリティ要件の理解と順守が不可欠です。そこで、ULがその信頼性が高い専門的知見を用いて企業がシステムを導入するのをお手伝いします。

COTSソリューション

電子決済を可能にするには主に2つの方法があります。



タッチスクリーン上のソフトウェアキーボードを用いて入力されたPIN情報をCOTSデバイスで読み取る際に、外付けのセキュリティカードリーダーを併用する方法 (SPoC) は一般にPin on GLASS方式と呼ばれています。

この方法では、

- カード所有者のデータを読み取るために、外付けのセキュリティカードリーダー (SCRIP) が必要です。
- 接触式、非接触式、磁気カード式のどれに対応できるかは、使用するSCRIPによって異なります。
- PCI規格では、接触式、非接触式決済においてモバイルデバイスにPIN情報を入力することができます。



COTSでの非接触式決済 (CPoC) は、TAP on Phone 或いはSoftPOSとも呼ばれています。

この方法では、

- 追加でハードウェアを導入する必要がありません。
- 非接触式の決済方法にご利用いただけます。
- PCI規格において、CPoC方式ではモバイルデバイスを使ってPIN情報を入力することはできません。
- カードのブランドにより異なりますが、パイロットプログラムでPIN情報の入力をCPoC方式でできるようになっている場合もあります。

ULによるアドバイザリーサービス

開発のコンセプト構築の段階から最終製品のローンチングまで、アドバイザリーサービスを提供しています。ULが培った専門知識を用いることで、プロジェクト立ち上げ時の煩雑さを解消し、スムーズに進めていただけます。以下のサービスを提供しています。

- **ナレッジサポート:** SoftPOSソリューションの企画から、システムデザインの構築、ローンチングまでに必要な専門知識を提供します。
- **ワークショップ:** 各カードブランドとPCIの要求事項を明確に解説いたします。そして、市場のニーズに合わせたソリューションを提示し、テストと認証プロセスをご案内します。
- **ベンダーの選定:** ベンダーの選定とソリューションの精査をサポートします。ULが市場調査を行い、利用可能なソリューションを特定し、独自の評価基準に基づいて紹介します。
- **トレーニング:** 担当者がすぐに理解できるよう、PCI SPoCトレーニングとPCI CPoCトレーニングを提供しています。
- **プレスタディ:** 提案されたソリューションの潜在的なコンプライアンス問題に関するフィードバックを提供します。



セキュリティ評価サービス

PIN on GlassやTap on Phoneソリューションのセキュリティを確保するため、PCIと決済スキームにはさまざまなセキュリティ評価プログラムがあります。

- PCI SPoCは、安全なPCI PTS (PIN transaction security) の承認カードリーダーを使用したPIN on Glassソリューションのためのセキュリティプログラムです。
- PCI CPoCは、PIN情報の入力の必要がないTap on Phoneソリューションのためのセキュリティプログラムです。PCIによる認定は、十分なセキュリティを備えていることの証としてカードブランドやアクワイアラ、国内の決済スキームに広く受け入れられています。
- Mastercard Tap on Phone Pilotは、Mastercardが開発したセキュリティプログラムで、Tap on PhoneソリューションのPIN情報の入力をサポートします。
- Visa Tap to Phone Pilotは、Tap on PhoneソリューションのPIN情報の入力をサポートするVISA Readyプログラムの一環です。

ULは、PCI協議会の正会員であり、PCI CPoC仕様策定に関わり、PCIがSPoC規格について最初に正式認定した試験所です。さらにMastercardおよびVisaの機能試験を完了した最初の試験所であることから、以下のようなセキュリティ評価サービスを提供しています。

	PIN 情報 入力要否	プレスタ ディ (オプション)	セキュリティ 評価 プログラム
PCI	要	PCI SPoCギ ャップ分析	PCI SPoC セキ ュリティ評価
	不要	PCI CPoCギ ャップ分析	PCI CPoC セキ ュリティ評価
Mastercard	要	Mastercard/ Visa Tap to Phone ギャ ップ分析	Mastercard tap on phone pilot
Visa	要		Visa tap to phone pilot
その他の 方法	不要	Tap to Phone pilot プログラ ム：準備中・近々公開予定	

これらのサービスは、状況に応じてカスタマイズできます。PCI CPoC、VISA、Mastercardのパイロットプログラムは重複するところがあるので、セキュリティ評価を組み合わせることで時間短縮が可能です。たとえば、MastercardのTap on Phone Pilotは個別実施では10週間かかりますが、MastercardとVISAの同時でのTap on Phone Pilotは、わずか12週間で実施可能です。

機能試験サービス

決済スキームにより決定される機能試験の要件は、Level 2 contactless kernel 仕様に準拠することです。ULの調査結果としては、Tap on Phoneの問題点は、下記の主な2つとなります。

- EMVCo Level 1 Proximity Coupling Device (PCD) (EMVCo Level 1近接型接合装置) に応じることが困難
- 機能に対する相当量のデバッグの必要性 (UL調査結果上：不合格率25%以上が一般的)

ULでは豊富な経験で上記問題を解決し、納期内に認定を受けられるようお客様を導きます。下記のサービスを提供しています。

- Tap on Phone デバッグ
- VISA機能検証 (ULラボ)
- Mastercard機能検証 (パートナー認定ラボ)

Why UL?

ULはコンプライアンステスト分野のリーダーであり、第3者安全科学機関として、125年の歴史があります。私たちは、お客様の声に耳を傾け、ビジネスニーズを理解し、お客様の成功のために全力を尽くしています。

- **経験**—我々は、ペイメントコンプライアンスに取り組み、サイバーセキュリティ評価に関して10年以上関わってきました。
- **知識**—セキュリティテストに関する我々の知識は、プロセスからソフトウェアに至るまでの暗号化、ハードウェアセキュリティモジュール(HSMs)の物理的セキュリティから携帯電話などの汎用システムの論理的セキュリティまで、システムセキュリティのすべての側面が含まれます。
- **認証**—我々は、PCI Software PIN on COTS規格で認定された最初の試験所です。そしてPCI CPoC規格、ブランド固有のtap-to-phone要件、VISA機能認証、及びEMVCoソフトウェアベースの携帯決済(SMBP)要件の認定も受けています。
- **柔軟性**—我々はグローバル企業であり、様々なタイムゾーンに対応できます。

Learn more at ims.UL.com or reach out to your UL representative.



Empowering Trust[®]